

### (3) 湖北地区

#### ア. 景観特性・課題

##### i 住居系土地利用

- ・駅の北側には古くからの農地や既存の集落地が、また南側には街路樹などの緑が印象的に整えられた住宅地がひろがり、大きく異なった表情を持つ地区に分けられます。
- ・国道356号沿いは、古くからの市街地として沿道の生垣、屋敷林などが成田街道の面影を偲ばせています。また、近接して中峠土地区画整理事業で整備された中峠台を中心に新しい住宅が見られます。
- ・湖北台団地は、中高層建築におけるスカイラインの統一などまとまりのある住宅地が形成されています。また、けやき並木がまちなみを緑豊かなものとしています。
- ・湖北台9丁目では、歴史を感じさせる正泉寺の山門などが見られ、まちの中に落ちついた空間をつくりだしています。
- ・中里通り沿いは、歴史的景観資源も多く、生垣、屋敷林などと一体となって趣のあるまちなみが形成されています。
- ・中峠や古戸地区では、地形に沿って道路が形成されており、古くからの集落地が見られます。

##### ii 商業系土地利用

- ・湖北駅の北側には古くからの商店街は、にぎわいの向上が望まれます。
- ・国道356号に沿って、大型店舗が増えつつあるが、無秩序な看板、広告物がまちなみを雑然としたものとしています。
- ・湖北台団地内の四季の道沿いの商店街があるが、まちなみの魅力の向上が望まれます。

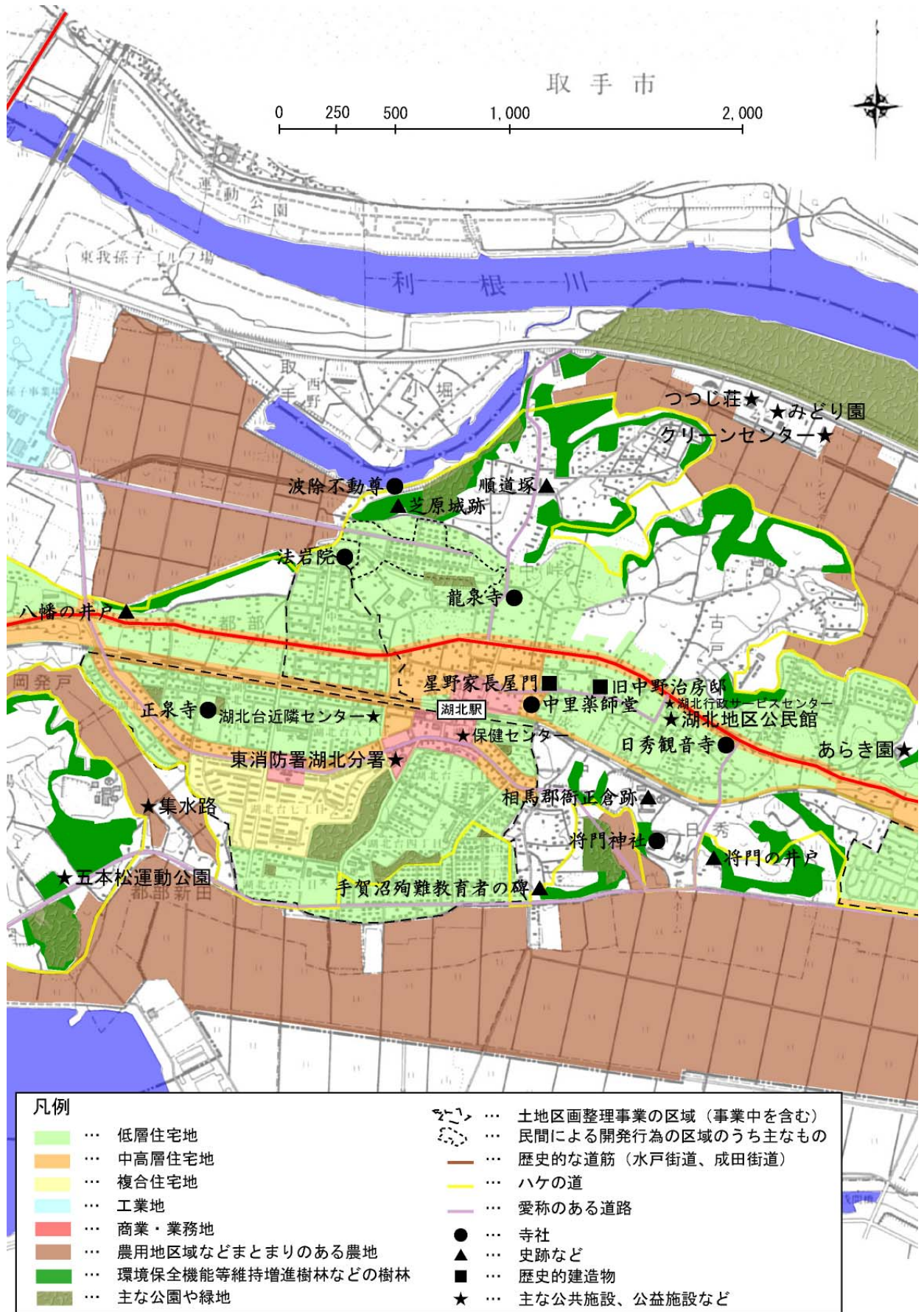
##### iii 駅前土地利用

- ・湖北駅南口は、駅前広場を含めデザイン的にも整えられています。
- ・北口駅前広場及び都市計画道路湖北駅・北口線では、無電柱化、歩行者に安全な歩道などの景観に配慮した整備が進められています。

##### iv その他

- ・古利根沼は、旧利根川の河道の跡として、豊かな水辺景観を形成しており芝原城跡とあわせてその保全と活用が求められています。
- ・湖北台中央公園は、地形の起伏を活かし、のびのびと遊べる緑のオープンスペースとなっています。
- ・利根川の河川敷をオープンスペースとして活用した利根川ゆうゆう公園があるが、市街地からの交通のアクセスが悪く、古利根沼や斜面林などの周辺景観に調和した道路整備が望まれます。

●湖北地区景観特性図



イ. 景観形成の方針

■湖北地区景観形成のテーマ

古利根沼がうるおい、都市と農の緑が調和するまち

■湖北地区景観形成の方針

- i 古利根沼を核としたうるおいのある水辺景観づくり
- ii 特徴のある地形と緑を保全し、活用した景観づくり
- iii 新しい都市の緑と農の緑が調和した景観づくり
- iv 水と緑への架け橋づくり

i 古利根沼を核としたうるおいのある水辺景観づくり

○水辺景観形成エリア  
(利根川)

・利根川の水辺の保全に努め、うるおいのある水辺景観の形成を図ります。

○水辺景観形成エリア  
(古利根沼)

・水辺や周辺の緑の保全を基本として、小動物などの生息環境に配慮し、水と緑に親しめる水辺空間づくりを進めます。  
→市民の景観意識の高揚や啓発活動の拠点として活用します。(市民参加方式)  
・利根川と関わりの深い歴史性を創出します。

ii 特徴のある地形と緑を保全し、活用した景観づくり

○緑の景観形成エリア  
(田園景観、斜面林)

・谷津田などの特徴ある地形と緑とが一体となった緑の景観の保全、育成に努めます。  
・田園地帯や斜面林沿いの水路などの活用を図り、周囲の自然環境と調和した景観形成を進めます。  
→谷津ミュージアムづくり

○農村集落地景観形成エリア  
(中峠、日秀)

・農地や斜面緑地などの環境の保全を図るとともにこれらと調和した景観整備を進めます。

○<sup>おび</sup>営み帯  
(手賀沼ふれあいライン)

・田園景観を阻害しない沿道景観づくりを行います。  
(手賀沼ふれあいライン)

## iii 新しい都市の緑と集落の緑が調和した景観づくり

- 市街地景観形成エリア  
(湖北台)
  - ・緑化の推進、オープンスペースの創出などにより、うるおいとゆとりのあるまちなみ景観の形成を図ります。
  - ・商業地においては商店の魅力化、個性化を図ります。
  - ・中高層の建物についてはその形態、色彩など遠景に配慮し、緑と調和したまちなみ景観の形成を図ります。
  
- 集落地景観を活かした市街地景観形成エリア  
(都部、中里)
  - ・地域の特色をつくり出している屋敷林や生垣、歴史的資源などを保全、活用し、身近な緑に伝統性を感じるまちなみ景観の形成を図ります。
  
- 地区拠点  
(湖北駅周辺)
  - ・北口駅前広場と都市計画道路湖北駅・北口線の拡幅や無電柱化などの整備により、にぎわいのある魅力的な商業地景観の形成を図ります。
  
- みどりの核  
(中里市民の森)
  - ・史跡と一体的な散策ルートとしてのみどりの核づくりを行います。
  
- みどりの核  
(湖北台中央公園)
  - ・周辺の緑と一体的に都市空間にうるおいをあたえ、地区の中心的な公園となるみどりの核づくりを行います。
  
- <sup>おび</sup>営み帯  
(国道356号)
  - ・沿道の歴史的資源を保全し、これを活かしたまとまりある沿道景観の形成を図ります。

## iv 水と緑への架け橋づくり

- <sup>おび</sup>架け橋帯  
(市街地から古利根沼、利根川への街路、市街地から手賀沼への街路)
  - ・市街地から「水・緑」空間へと導くために、水辺を意識した連続性のある沿道景観形成を図ります。
  - 道路、遊歩道沿いに連続した緑化や歩道などに設置されるベンチ、案内板、街路灯などの都市空間を演出するための設備などの整備に努めます。
  
- <sup>おび</sup>架け橋帯  
(集水路)
  - ・周辺の自然環境、生態系に配慮し、水と緑の回遊性をもたせた親水性の高い景観の帯を形成します。

●湖北地区景観形成方針図

